



平成29年度 学校法人三浦学園 全日制女子校

日本音楽高等学校(日音)

No. 10

学校だより 「Intellect & Art」

音楽・バレエ・舞台芸術・幼児教育コース

=知性と芸術の融合=

発行日

平成30年 1月25日

発行人

校長 菊本和仁

建学の精神 教育理念
「愛と和と誠実」

愛 : いたわりの心

和 : 連携と協調の心

誠実 : 真摯に学ぶ心

住所
電話
ホームページ

〒142-0042 東京都品川区豊町2-16-12

電話:3786-1711 (代表) FAX:3786-1717

ホームページ <http://www.nichion-h.ed.jp/>

※最寄り駅

東急大井町線 ^{しもしんめい}「下神明駅」徒歩3分

※校内と教室掲示以外、個人情報保護のため生徒名はイニシャルにしています。

3学期始業式:校長あいさつ

=旧池田菊苗邸「本校1号館のなりたちを振り返る」=
(一部抜粋)

新年、あけましておめでとうございます。三学期の始業式で皆さんの元気な姿を見ることができて大変うれしく思います。

さて、年のはじめにあたり、本校の歴史と伝統の一部に触れてみたいと思います。毎年、品川区主催のこども文化財散策ツアー「まちのお宝を発見しよう!」が実施されています。12月16日(土)には品川区内6ヶ所のすまいるスクール(品川区内の小学生が放課後・土曜日・夏休みなどに活動する施設)の子どもたちが自分たちのまちに残る貴重な文化財を見学しながら歩くというもので、本校の1号館を見学に訪れました。

本校1号館は、今から93年前の1925年(大正14年)池田菊苗氏(いけだきくなえ)の住居兼研究室として建築されたものであり、木造住宅がまだ多かった時代、東京郊外に建てられた最新鋭の技術である鉄筋コンクリート造の住宅は、大変人目を引いたことでしょう。第二次世界大戦の戦災を免れて焼けずに現在に至っています。戦後、三浦学園の所有となり、ピアノ・声楽・管弦打楽器の個別のレッスン室や小ホールとして使用されています。特に入って右側にある理事特別応接室には、当時を思わせる家具や調度品があり大切に保存されています。本校へ来られた大切なお客様をもてなす時に使用されています。



<1号館ベートーベン座像前で>

では、この池田菊苗という人はどのような人だったのでしょか?池田菊苗(1864年~1936年)は、東京帝国大学(現東京大学)の教授であり戦前日本の化学者でした。「吾輩は猫である」で有名な文学者夏目漱石とも仲がよかったそうです。現在、世界中で広く普及している「うま味」調味料の発見者で、その成分はL-グルタミン酸ナトリウムであることを解明した人です。幼少期より昆布のだしに関心を持ち、湯豆腐のだし汁昆布の研究に着手し、1907年(明治40年)昆布から煮汁をとり、うま味の素であるL-グルタミン酸ナトリウムを得ることに成功。後に「味の素」という商品名を付けられ、製造販売、味の素株式会社へと発展しました。

人の舌で感じる味覚は、甘味・酸味・塩味・苦味の四つだと言われていましたが、第五の「うま味成分」の発見により日本語の「UMAMI(うま味)」のまま世界に通用するまでになりました。「日本の十大発明」のひとつであるとも言われています。2008年(平成20年)11月には、『「AMBITION-化学者 池田菊苗」。「志」(こころざし)』というタイトルで、昆布の「うま味」成分がグルタミン酸であることを発見し、調味料の製造法特許を取得してから「味の素」という製品を事業化するまでのドキュメンタリードラマが「"うま味"発見百周年」を記念してつくられました。同時に紙芝居も作られ、小さな子どもたちにもこの偉人の功績が伝えられ、生き方を学んでいたようです。

今日は、志(こころざし)を高くもち、様々な苦難に立ち向かい、世界に通用する人の生活に役立つ仕事をなし得た池田菊苗の話をしました。本校の歴史の中にはこんなこともあったということを知ってほしいと同時に、皆さん一人ひとりが池田菊苗のように大きな志をもって日々精進し大きな夢の実現を目指してほしいと思います。「一年の計は元旦にあり」といいます。今年一年をどのように生きていくか自分自身で具体的な目標を立て「フォーサイト手帳」に書き込んでください。また、機会があれば本校の長きにわたる歴史や伝統の中で活躍した人物にも触れてみたいと思います。

最後になりますが、新しい年度を迎える準備でもある三学期は1月(行く)・2月(逃げる)・3月(去る)とあって「あっ」という間に過ぎてしまいます。3年生は卒業後のことを考えて今を大切にするとともに、2・1年生は、進級した後のことを考えて有意義な3学期を過ごしてほしいと思います。以上、私の年頭のあいさつとします。

【生徒会役員選挙・立会演説会】

1月13日(土)三浦記念ホールで生徒会役員選挙・立会演説会が行われ、下記の新役員が決まりました。生徒の代表として、より良い学校生活が送れるように頑張ってくれるものと思います。生徒一人ひとりが生徒会の一員として協力してください。

<新役員>

会長 S. M. さん (2年舞台芸術コース)
 副会長 S. S. さん (2年幼児教育コース)
 I. S. さん (2年音楽コース)
 書記 F. K. さん (1年音楽コース)
 会計 M. A. さん (2年舞台芸術コース)
 S. K. さん (1年バレエコース)



<三浦記念ホール：立会演説会の様子>

【音楽コース】

○「第11回 第九を歌おう！ in きゅりあん」

於：きゅりあん大ホール 12/23(土)

第1部は、三善晃作曲「無伴奏女声合唱のための《かなしみについて》」と「或る風に寄せて」と村・ヤロ作曲の「グローリア」を音楽コース全員で歌いました。第2部の「第九」には、菊本校長先生と望月先生、本校OG4名も参加しました。



○「クリスマスコンサート」

主催：品川シルバー大学同窓会

於：きゅりあん小ホール 12/25(月)

第1部は、音楽コース在校生の合唱「クリスマスメドレー」で始まり、ソプラノ独唱・弦楽アンサンブル・三善晃作曲の合唱曲を、第2部は、音大や大学院に在籍している本校OGの独唱や独奏をお聴きいただき、最後は会場の皆様と一緒に「きよしこの夜」を歌い、和やかな雰囲気の中でコンサートを閉じました。

(出演者全員の集合写真)



＝東京都私立中・高協会より優秀教員表彰＝

1/11(水)アルガディア市ヶ谷

今年度は、本校から小川教子先生が優秀教員として表彰されました。当日、協会の会長近藤彰郎様より表彰状と記念品が授与されました。

【特別ワークショップ】

1/9(火)・11(木)

＝バレエコース・舞台芸術コース合同企画＝

講師：Makoto Iso (磯 真琴) 本校14年度卒

プロフィール：本校卒業後渡英し、セントラルバレースクールに在籍。

現在、ロンドンWestEnd「ライオンキング」

に出演。英国ショービジネス界で活躍中。

本校の楽苑ホール・第1レッスン室で、バレエコース1・2年生と舞台芸術コースの全員を対象にミュージカルにおける舞台表現(ダンス・歌・演技)ワークショップについて指導していただきました。



<第1レッスン室でのレッスンの様子>

＝心とからだの

アンケート＝

本校では、昨年度より7月と12月に「心とからだのアンケート」を実施しています。定点観測をすることにより、アンケートの集計結果から見えてくるものを生徒の学校生活に活かしていこうというのが目的です。本校ホームページに掲載してありますので、保護者の方もご覧ください。また、児島養護教諭の原稿が、保健雑誌「健」(2018 2月号)に、保健指導「食に関する指導」生徒を知る「心とからだのアンケート」と題して6ページ掲載されました。

<コンクールの結果>

第34回

全日本ジュニアクラシック音楽コンクール

(金管楽器部門：高校生の部) 1/7(日)

於：府中グリーンプラザげやきホール

トランペット：M. M. さん(2年音楽コース)

予選合格(本選出場)

曲目：「Andante et Allegro」

J. Balay 作曲